

ヒト中心のまちなかをつくるプロジェクト

!OPEN! NUMAZU 2022



実施概要

OPEN NUMAZUとは

中心市街地まちづくり戦略で位置づけた「ヒト中心の公共空間の創出」の一環として、まちなかの公共空間や様々な資源をひらく（活用する）ことで、人の気持ちもまちに開いていくために、“あったらいいな”と思える**日常の風景や居心地の良い空間づくり**を行う取組。

OPEN NUMAZU 2022 STREET

【期間】

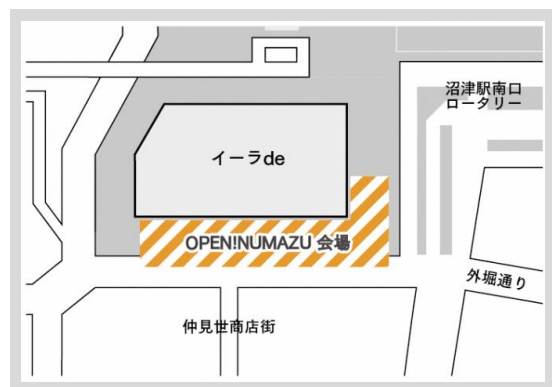
令和4年4月6日（水）～4月26日（火）の21日間

※荒天のため、最終日を予定よりも1日繰り上げ

【場所】

イーラde周辺歩道及び南側車道の一部

※沼津駅南口駅前広場への左折車線を規制し、歩行者空間へと転換



【内容】

- 誰でも自由に使えるイス・テーブル等を造作し、**統一されたデザイン**のもと、くつろぎ空間を創出。
- 創出した**空間で居心地よく過ごすための付随コンテンツ・きっかけ**として、日常の寄り添った店舗の出店を実施。

OPEN! NUMAZU

【目的】

まちづくりシナリオで示すPHASE 1-1として、（都）三枚橋錦町線の再編を見据え、拡張した歩行者空間を含めた公共空間の利活用を実践。

OPEN! NUMAZU

2022
STREET



- 目的1 街路空間の新たな使い方を試行し、
来訪者の行動変容を把握する
- 目的2 市民のまちの変化に対する期待及び
周辺事業者の公共空間利活用に対する機運を醸成する
- 目的3 駅前街路の再編（車線数減少）による
周辺交通への影響を確認する





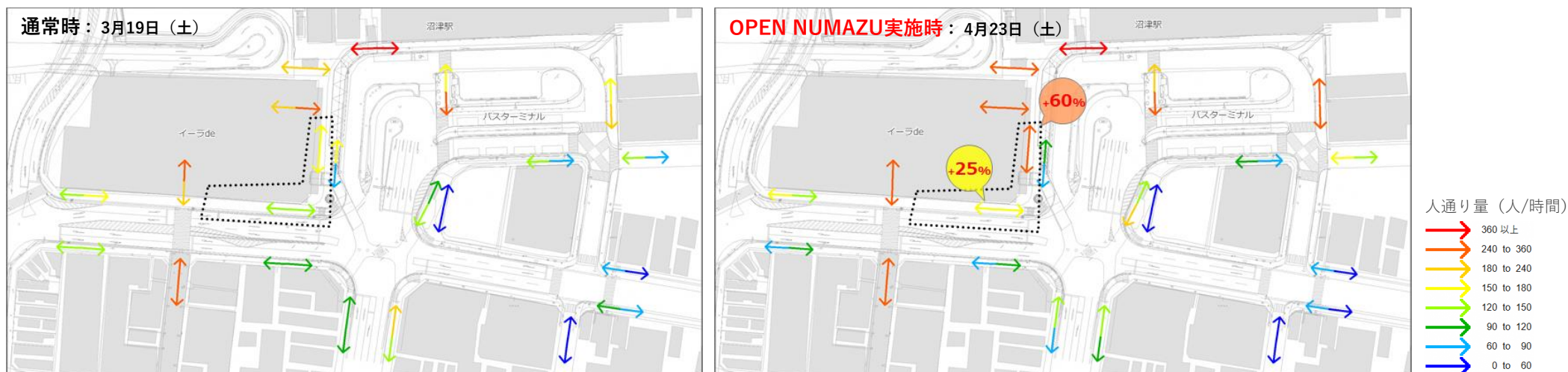
効果検証① 街路空間の新たな使い方を試行し、来訪者の行動変容を把握する

ゲートカウント調査

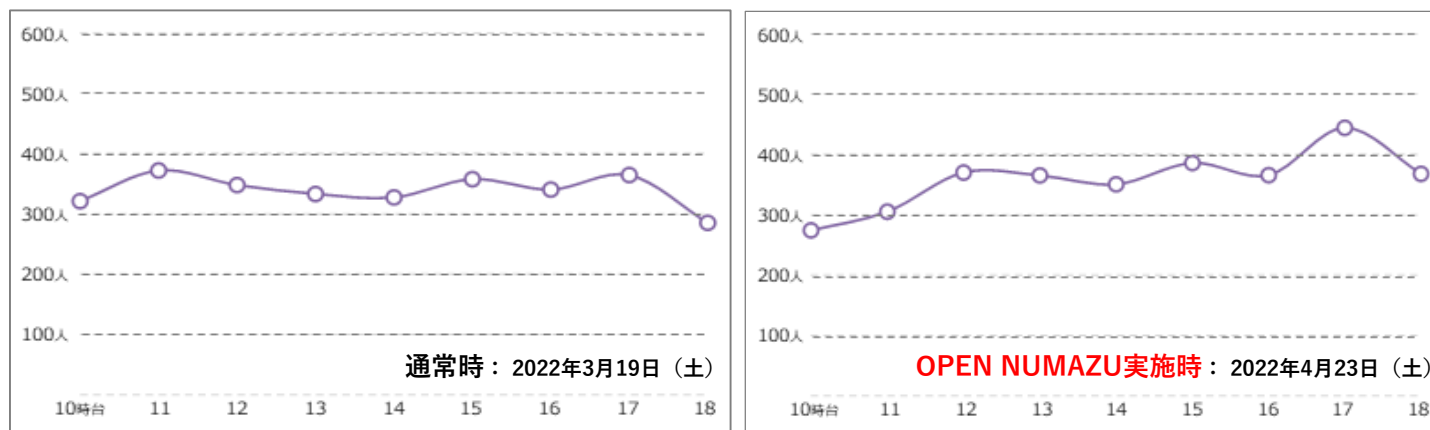
各地点で5分間にそこを通過する人数をカウント。10:00～19:30の各時間帯で実施した計9回の平均値を算出し、1時間あたりの人数に換算。

通常時と比べて、イーラde南東側の歩行者通行量が約**25%**増加、イーラde東側の歩行者交通量が約**60%**増加

【歩行者通行量分布】



【1断面あたりの平均歩行者通行量の時間帯別変化】



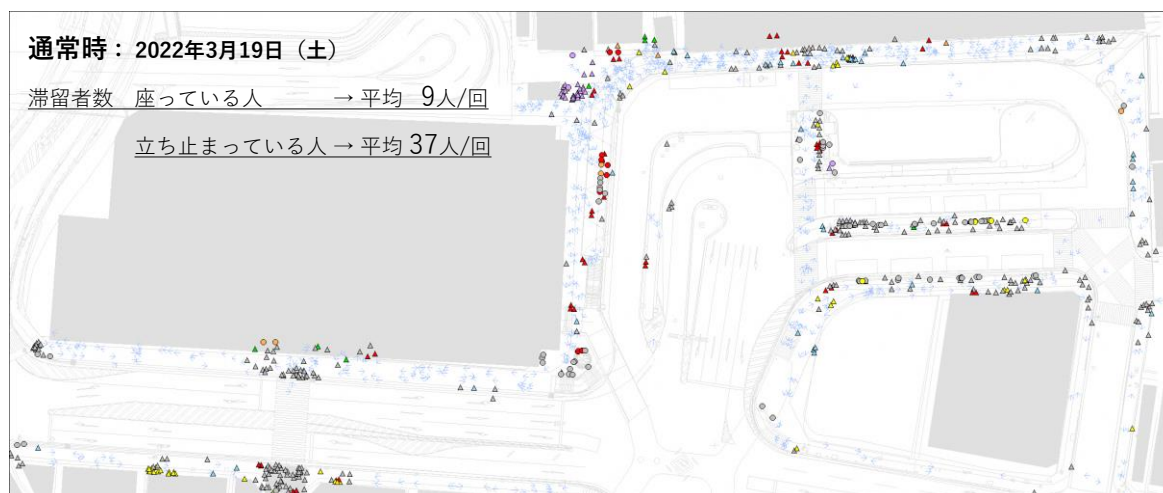
効果検証① 街路空間の新たな使い方を試行し、来訪者の行動変容を把握する

スナップショット調査

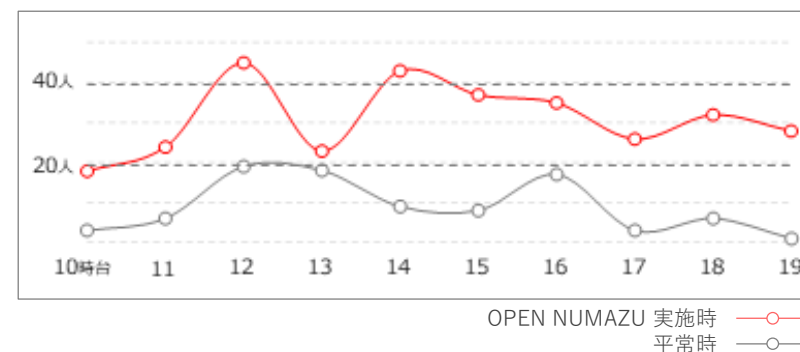
調査員が目視により、滞留者の分布及び行動を記録。10:00～19:30の各時間帯で計10回の観測を実施。

通常時と比べて、沼津駅周辺の滞留者数（座っている人・立ち止まっている人）が約**60%**増加、座っている人に限ると約**250%**増加

【滞留者分布】



【座っている人の時間帯別人数の比較】



滞留状況

- 座っている
- △ 立ち止まっている

行動

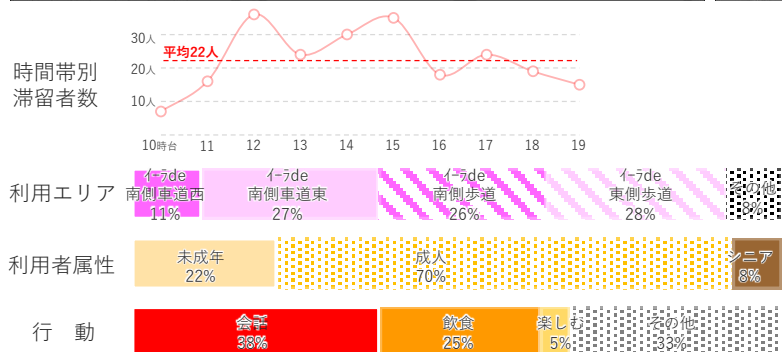
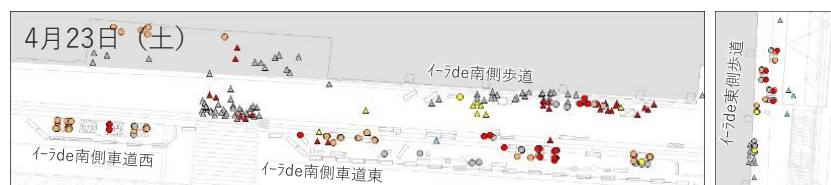
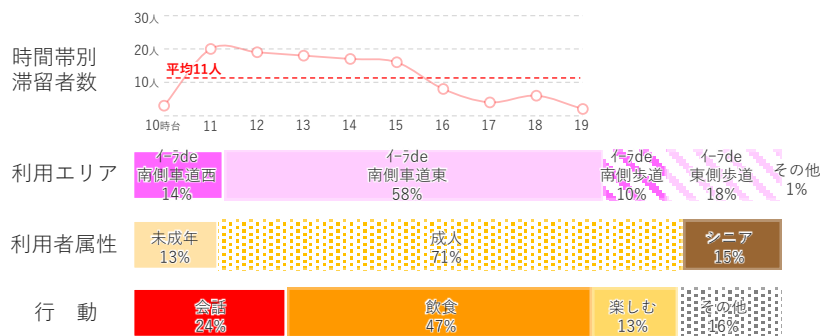
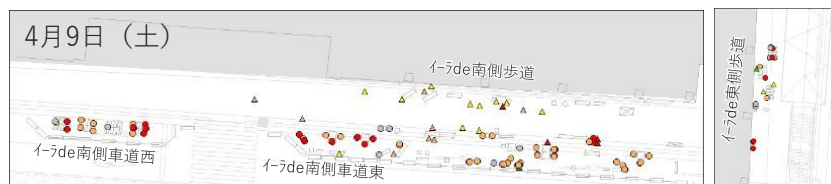
- 話している
- 飲食している
- 楽しむ（買い物/遊び/写真撮影など）
- 休憩（荷物整理/居眠りなど）
- 道に迷っている様子
- 喫煙
- その他（信号・バス待ち/スマホなど）

効果検証① 街路空間の新たな使い方を試行し、来訪者の行動変容を把握する

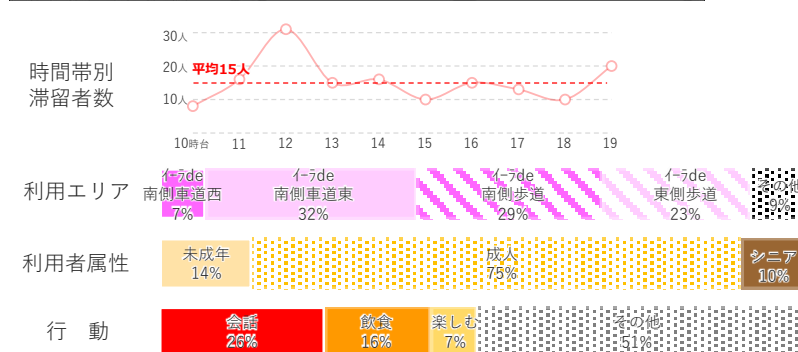
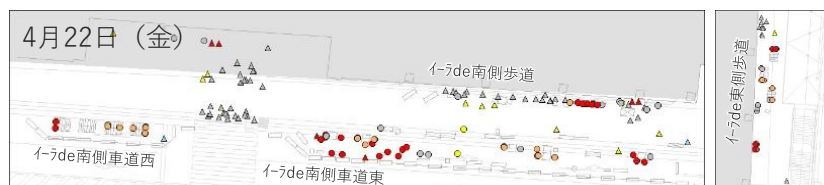
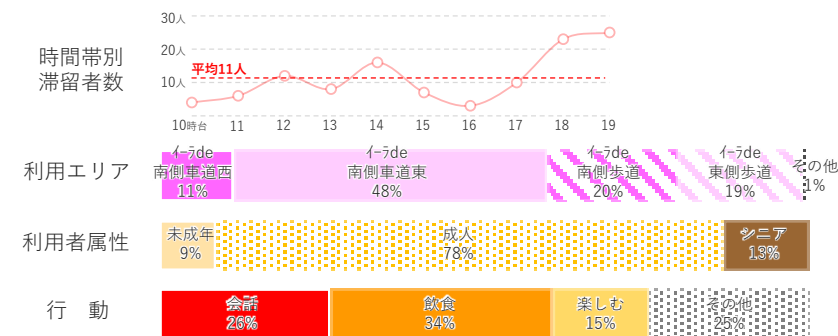
時間の経過に伴い、滞留者数が増加し、利用者の属性や行動が多様化

- ▶ 学生の利用が多く見られるように
- ▶ イーラde南側車道東以外のエリアでも利用が多く見られるように
- ▶ 飲食や会話以外にも、社会人のPC作業や学生の勉強、ライブ配信など様々な行動（「その他」・「楽しむ」）が見られるように

【休日】



【平日】



滞留状況
○ 座り
△ 立ち

行動
● 会話
● 飲食
● 楽しむ
● 休憩
● 迷い
● 喫煙
● その他

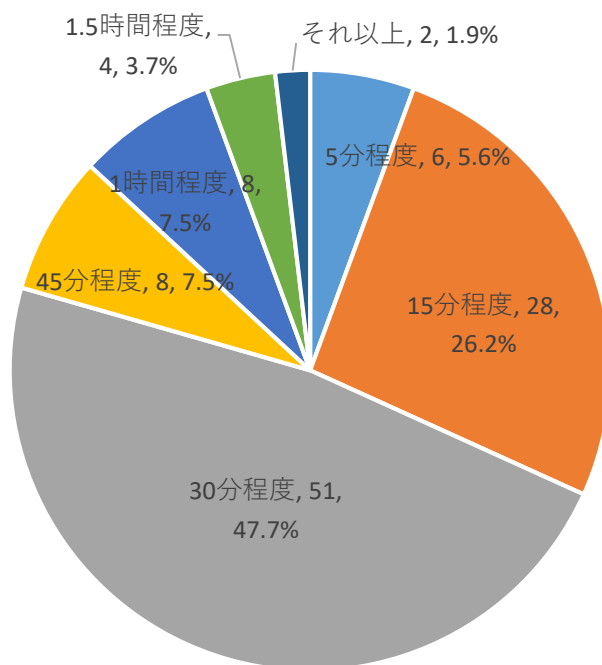
効果検証② 市民のまちの変化に対する期待及び周辺事業者の公共空間利活用に対する機運を醸成する

利用者アンケート調査

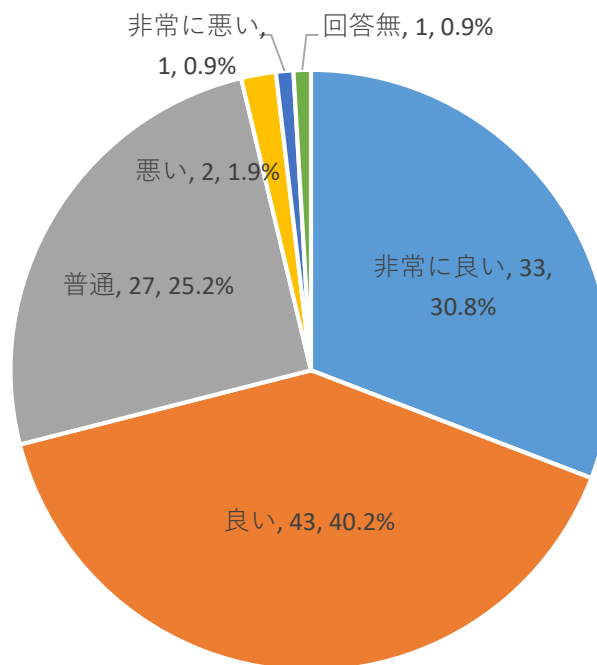
OPEN NUMAZUの空間の利用者を対象にアンケート調査を実施。（N=139）

利用者の約**半数**が30分程度くつろぎ空間に滞在し、**70%**以上が居心地が良かったと回答

【滞在時間】



【空間の居心地に対する評価】



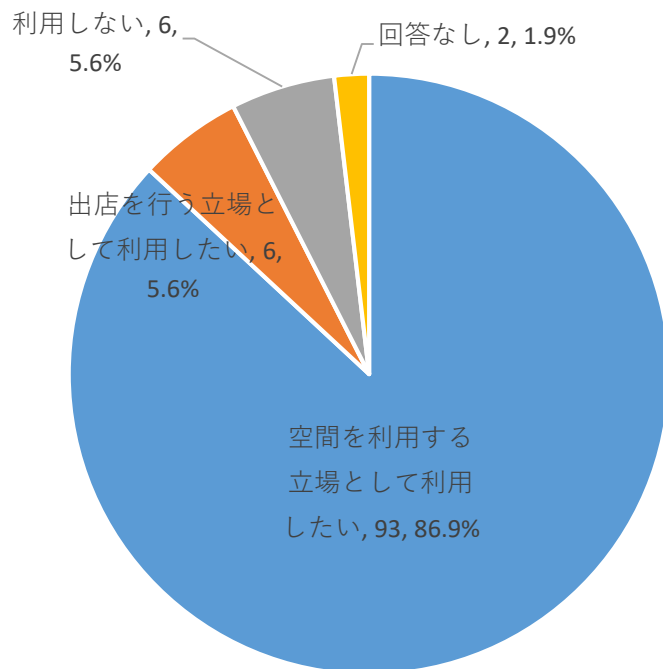
【居心地・過ごしやすさに対するコメント】

- 外での飲食はとても楽しく、コロナ禍でも安心して利用できると思った。
- 公共空間で過ごす時間は、まちの動きを感じられて良かった。
- 人の気配を感じられるスペースは、活気・治安の面から、観光客ではなく、地元の人に寄り添っていて、他市町に住む身としては羨ましい。
- 様々な年代の人が居て、安心して利用できた。
- 沼津には人が気軽に座って話をしたり、ゆっくりできたりする空間が少ないと感じていたので、OPEN NUMAZUの空間は人が気軽に集まって、とても良い空間になっていたと思う。
- 学生は特にすることがなくても、座って話せる場所があると嬉しいので、こういった空間が常にあるとたくさんの人が集まり、沼津が盛り上がると思う。

効果検証 ② 市民のまちの変化に対する期待及び周辺事業者の公共空間利活用に対する機運を醸成する

利用者の90%以上が空間が整備された場合、その空間を利活用したいと回答

【くつろぎ空間が整備された場合の利活用意向】



【社会実験・取組自体に対するコメント】

- 正直感動だった。沼津のまちにさみしさを感じていたが、素敵な家具が並べられた癒しの空間で美味しいコーヒーも飲むことができ、来てよかった。
- 駅前に人が集まりやすくなるおもしろい取組で、1日のQOLが上がるものだと思う。持ち込みOKにより、周りの飲食店のテイクアウト利用も推進できている。
- ラブライブの観光で訪れたが、このような取組があるとラブライブに関係なく、沼津という場所を楽しめるので素敵だと思う。また沼津に来たくなった。
- 沼津駅周辺に行く機会が減っていたが、このような取組が増えると行ってみようかと思えるようになる。
- 車道があってもまちのにぎわいには寄与しないので、座れる場所をつくるのは良い取組であると思った。

【意見・提案等】

- 雨を避けることができる簡易的な屋根のようなものがあると良い。
- 自身もおもしろい取組だと思えたので、地域の学生も参加できるようになると良い。
- パラソルなどの日差しを遮るものがほしい。日光が強い日だと長時間の滞在は難しい。
- Wi-fiがあるとより活用の幅が広がると感じた。
- 車の通りが気になるので、車道との境に草花や樹木などをある程度の高さを出して設置し、空間を区切ることができれば、よりくつろげると思う。
- 自転車が車道を走行しづらくなっている。
- 車が横付けできなくなり、不便である。

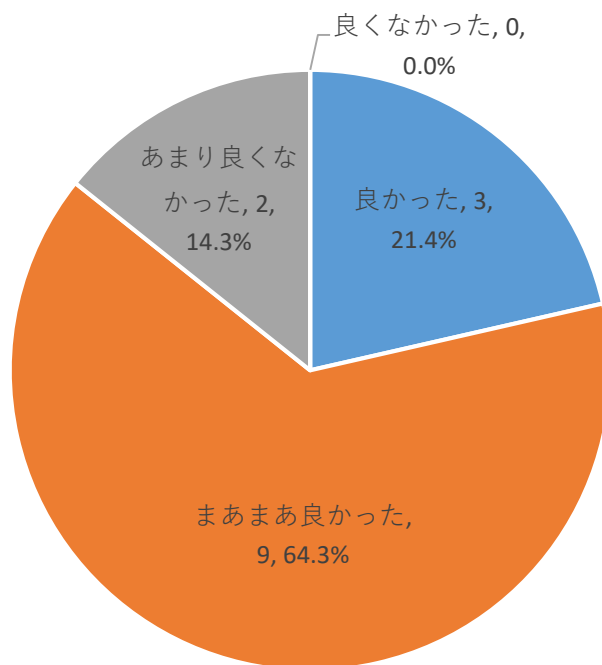
効果検証② 市民のまちの変化に対する期待及び周辺事業者の公共空間利活用に対する機運を醸成する

出店者アンケート調査

OPEN NUMAZUに出店いただいた計14店舗を対象にアンケート調査を実施。

出店者の85%以上が今回のOPEN NUMAZUに満足していると回答

【OPEN NUMAZUに対する満足度】



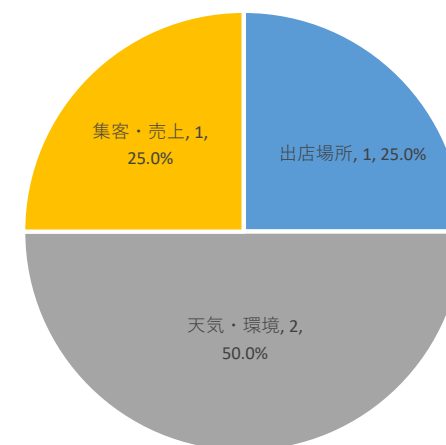
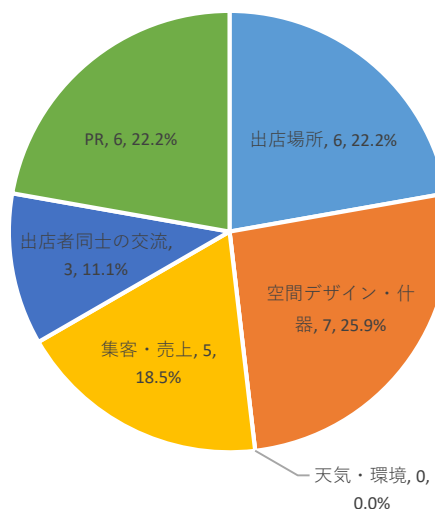
出店14店舗の内訳

コーヒー (4)、ランチ・パン (3)、スイーツ (2)、アルコール (2)
文化・美容・植物 (3)

【”良かった”・”まあまあ良かった”理由】 【”良くなかった”・”あまり良くなかった”理由】

※複数回答可

※複数回答可

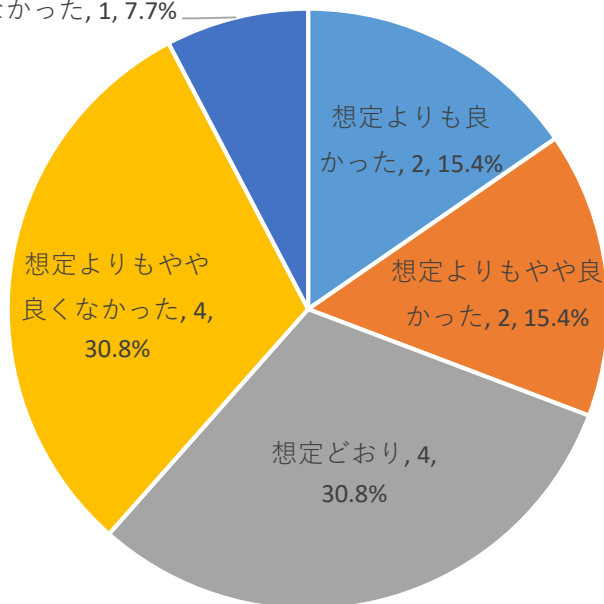


効果検証 ② 市民のまちの変化に対する期待及び周辺事業者の公共空間利活用に対する機運を醸成する

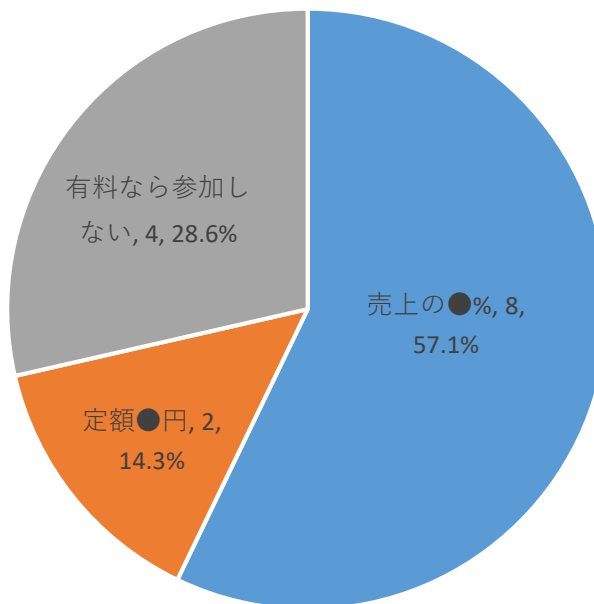
出店者の60%以上が売り上げに満足し、70%以上が出店料があっても出店したいと回答

【売り上げに対する満足度】

想定よりも良く
なかった, 1, 7.7%



【1日あたりの妥当な出店料】



—売上の●%—

- 5～10%
- 10% (4店舗)
- 10～15%
- 10～20%
- 運営者側のコストによる

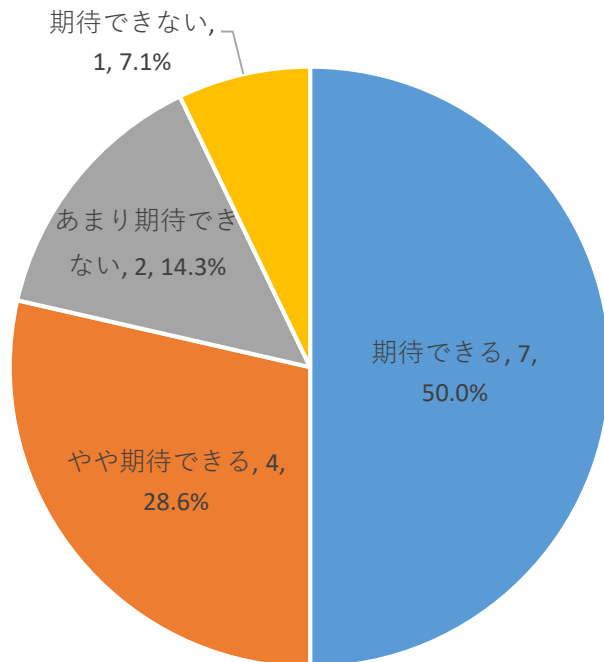
—定額●円—

- 2,000円
- 場所による

効果検証② 市民のまちの変化に対する期待及び周辺事業者の公共空間利活用に対する機運を醸成する

出店者の約80%が“ヒト中心のまちづくり”に対して期待できると回答

【今後の「まちなかで日常を過ごすことができる空間づくり」への期待度】



【その理由】

ー期待できる・やや期待できるー

- 毎日見ていたが、年代別の交流があり、それによって何かできるのではと感じた。
- 期待が高く、はじめの週はかなり人が多かった印象。以降は客足が落ち着いたので、出店者が出揃う時間が増えれば、より期待できる。
- 今回のOPEN NUMAZUの印象が良かったので。
- まちを歩く人が少なく、まちなかのお店はどれも疲弊している。このような取組を行えば少なからず人が集まると思うので
- まちなかで日常を過ごすことができる空間があると魅力的なまちになると思う。
- とても良い取組だと評価してくれた市民が多かったので。一方で、新しいことに消極的な方も一定数いたので、そのような方の理解も深めながら、丁寧に進めていくことも大切であると感じた。
- 人口の割にまちなかに出ている人の数が少ない気がする。また、元々道幅が広く、きれいな場所も多いので。
- 沼津を盛り上げるのに必要なことであると思うので。

ー期待できない・あまり期待できないー

- 沼津市全体でもっとアピールしていく必要がある。歩いている人が少なすぎるため、まちなかを変えていくことからやらなくてはダメだと思う。
- 車社会なので駐車場がないと難しいと思う。

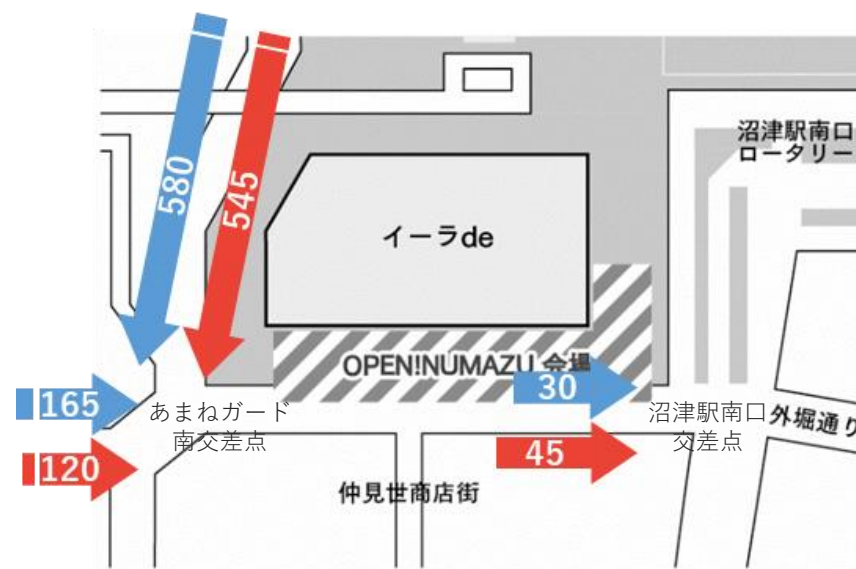
効果検証③ 駅前街路の再編（車線数減少）による周辺交通への影響を確認する

自動車滞留長調査

朝（7～9時）、夕（17～19時）の計4時間、滞留（車列）長を15分ごとに計測し、最も滞留が長い車線の滞留長を記録。

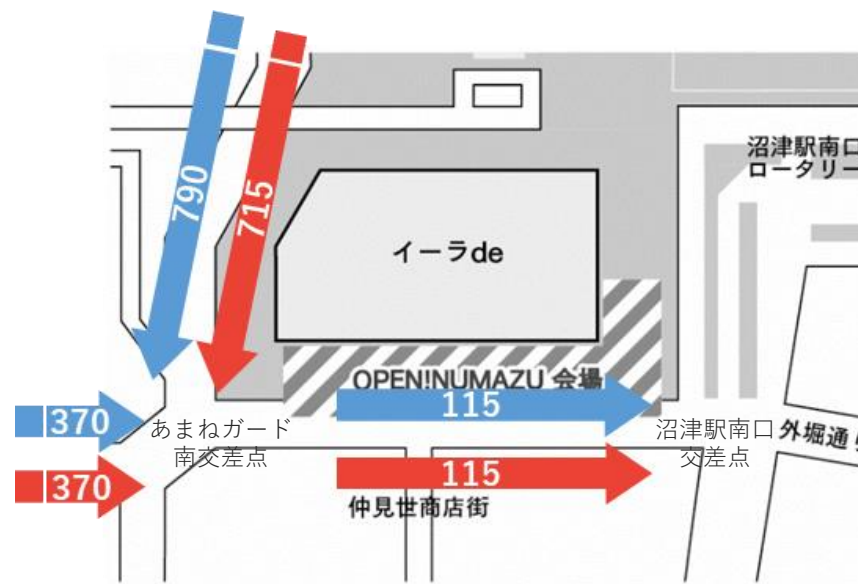
OPEN MUMAZU実施時が平常時の値を大幅に上回ることなく、**車線数減少による大きな影響はないものと考えられる**

【休日（平常時：3月19日（土）、実験時：4月16日（土））】



(休日)		平常時	実験時
あまねガード南交差点	南進	580m	545m
〃	東進	165m	120m
沼津駅南口交差点	東進	30m	45m

【平日（平常時：3月25日（金）、実験時：4月22日（金））】



(平日)		平常時	実験時
あまねガード南交差点	南進	790m	715m
〃	東進	370m	370m
沼津駅南口交差点	東進	115m	115m

平常時 (m) →
実験時 (m) →

OPEN NUMAZU 2022 STREETで生まれた風景



OPEN NUMAZU 2022 STREETで生まれた風景



OPEN NUMAZU 2022 STREETで生まれた風景



OPEN NUMAZU 2022 STREETで生まれた風景



OPEN NUMAZU 2022 STREETで生まれた風景



「OPEN NUMAZU 2022 STREET」で生まれた風景をまとめた動画を作成



動画はこちらのページから▲